

第十四回 貴族院議事速記録第二十九號

明治三十三年二月二十日(火曜日)

午後一時十三分開議

議事日程 第二十九號 明治三十三年二月二十日

午後一時開議

第一 郵便法案兩院協議會成案 會議

第二 明治三十三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)兩院協議會成案 會議

第三 官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便貯金ニ屬スル現金出納ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 明治二十三年法律第二十一號中改正法律案(政府提出案) 第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第七 農工銀行補助法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第八 農工銀行法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第九 明治三十三年度歳入歳出總決算及明治三十一年度各特別會計歳入歳出決算(政府提出案) 會議(決算委員報告)

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

昨十九日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出衆議院議員選舉法改正法律案ハ即日衆議院ニ回付セリ

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日衆議院ニ送付セリ

臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

臺灣ニ服役スル軍人ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

臺灣ニ在勤スル地方税支辨ノ俸給ヲ受クル文官判任以上ノ學校職員ノ退職料及遺族扶助料ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ承諾スヘシト議決シタル政府提出明治三十一年度豫備金支出ノ件外三件ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ其旨ヲ奏上シ及衆議院ニ通知セリ

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知セリ

未成年者喫煙禁止法案

古物商取締法中改正法律案

同日本院ニ於テ衆議院提出家祿引直處分法案ヲ否決シタル旨衆議院ニ通知セリ

同日本院ニ於テ可決シタル區裁判所出張所設置ノ請願外八件ノ請願ハ即日意見書ヲ付シテ政府ニ送付セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

行政執行法案

治安警察法案

同日左ノ衆議院提出案ヲ受領セリ

混成酒稅法中改正法律案

市制町村制中改正法律案

酒造稅法中改正法律案

登錄稅法中改正法律案

明治二十二年法律第三十四號中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

精神病者監護法案

保險業法案

明治三十三年度歳入歳出總豫算追加案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件兩院協議委員ニ於テ議長ニ子爵岡部長職君、副議長ニ松平正直君當選セラレタリ

委員長副委員長左ノ通當選セラレタリ

產業組合法案特別委員會

委員長 子爵谷 干 城君 副委員長 田中 芳男君

傳染病豫防救治ニ從事スル者ノ手當金ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵谷 干 城君 副委員長 子爵青山 幸 宜君

同日衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

本院ハ郵便法案ノ成案ヲ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

本院ハ(第一號)明治三十三年度歳入歳出總豫算追加案及(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ノ成案ヲ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

衆議院議員選舉法改正法律案

右案ニ付本院ハ貴院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

本院ハ衆議院議員選舉法改正法律案協議會委員ノ數十名ト爲スニ決セリ此段及通知候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今報告ヲ致シマシタ通り選舉法ノ改正案ニハ衆議院ハ同意ヲ致シマセヌ、ソレデ兩院協議會ヲ開クト云フ通牒ガアリマシタ、之ニ對シテ本院ヨリ同數ノ協議員ヲ設ケル必要ガアリマスカラ、直チニ其選舉ニ移リタイト思ヒマス、是ハ例ニ依リマシテ議長委託デ御異議ハアリマセマカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ直チニ指名致シマス

〔太田書記官朗讀〕

衆議院議員選舉法改正法律案兩院協議會委員

侯爵黒田 長成君	子爵堀田 正養君	松岡 康毅君
松平 正直君	男爵小澤 武雄君	男爵船 越 衛君
男爵南岩倉 具威君	三崎 龜之助君	田 中源太郎君
早川 周造君		

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、郵便法案、兩院

協議會成案、會議

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載録ス以下之ニ同シ〕

郵便法案兩院協議會成案

貴族院修正案第十八條第一項第三種一及二中「十六匁」ヲ「二十匁」ニ改ム

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 郵便法案兩院協議會ハ去ル十七日午後ニ相關キマシテ協議委員ニ於キマシテ段々協議ヲ遂ゲマシタル末、雙方ヨリ二人宛ノ委員ヲ選ンデ先ヅ其四人ノ委員ニ協議ヲ託シマシテ其報告ヲ待チマシテ協議會ノ議ヲ終ヘマシタ譯デアリマス、諸君モ御承知ノ通り衆議院ガ本院ノ議決ニ對シテ同意ヲ表シ難シト云フ所ノ點ハ第十八條第一項ノ第三種一及二ト云フ所デアリマシテ、即チ新聞雜誌等ノ目方ヲ極メマスノニ其單位ヲ本院ハ十六匁ト決シマシタノデ、即チ政府原案ノ通りニ致シタノデ、然ルニ衆議院ハ前議ヲ主張致シタノデ、即チ二十五匁ト云フ所ヲ主張致シタノデアリマスガ、併シ唯今申上ゲマシタル通り四人ノ委員ニ於テ段々相談ヲ致シ、詰リ協議員總體ノ多數決ニハ服從ヲ致サウ、多數ガ決シタ所ニ雙方ニ於テ折合フコトニ致サウト云フコトニ相成マシタノデ、其問題ハ段々審議ノ末ニ二十二匁ニ決スルカ二十匁ニ決スルカト云フ問題デ、其ノ中ノ一ヲ取ラウト云フコトニナリマシタ所ガ、投票ヲ致シマシタ所、二十匁トスベシト云フ方ガ十人、二十二匁トスベシト云フ方ガ七人デアリマシテ、即チ三票ノ多數ヲ以テ二十匁說ニ決シマシタノデアリマス、ソレデ雙方協議委員異議ナク同意ヲ表シテ別レマシタ位ノコトデ、即チ衆議院ニ於テハ協議會ノ成案ヲ可決致シマシタルコトデアリマスカラ、何卒本院ニ於テモ此成案ノ異議ナク可決ナリマスヤウニ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 此成案ノ通りデ御異議ハアリマセマカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ此成案ハ可決ト認メマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治三十三年度歳入歳出總豫算追加案、第一號及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第一號、兩院協議會成案、會議

明治三十三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)外一件兩院協議會成案

一明治三十三年度歳入歳出總算追加案(第一號)及豫算外國庫ノ負擔トナ
ルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)ハ貴族院修正案ノ通トス

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 此協議會ハ昨日正午過ニ開キマシテ速ニ決定ヲ致シマ
シタノデアリマス、是モ矢張り前案ノ如クニ雙方ヨリ兩名宛ノ委員ヲ選ンデ
先ヅ協議ヲ遂ゲシムルコトニ致シタノデ、其委員ノ報告ガ段々協議ノ末、總
テ貴族院ノ修正ノ通りニ致シテ宜シト云フコトニナリマシタ、協議中ニハ
或ハ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ要スル、此契約ノ方ニ或ル條件ヲ附
サウト云フコトガアリマシタノデアリマスルガ、併ナガラ條件ヲ付スルニモ
相當ナ條件ノ附シ方モナイカラ矢張り是ハ此儘差置イタ方ガ宜カラウ、又金
額ニ附イテハ矢張り貴族院ノ見ル所ヲ以テ同意ナスルヨリ外致シ方アルマイ
ト云フコトデ是モ協議會ニ於キマシテハ別ニ投票ヲ用ウルマデニモ至リマセ
ヌデ、即チ雙方協議員全會一致ヲ以テ貴族院修正說即チ政府案復活ト云フコ
トニ至リマシタコトデアリマス、是モ昨日衆議院ニ於テ通過相成リマシタル
コトデアリマスカラ、無論本院ハ可決ニナリマスコトト存ジマス、即決ヲ願
ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 此成案モ可決ト認メテ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便貯金ニ屬
スル現金出納ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便貯金ニ屬スル現金出納ニ關スル
法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月十七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便貯金ニ屬スル現金出納ニ關
スル法律案

官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便貯金ニ屬スル現金ノ出納ハ鐵道、郵
便、電信、電話官署ノ事務員ヲシテ分掌セシムルコトヲ得
前項事務員ニ對シテハ會計法第九章ニ定ムル出納官吏ニ關スル規定ヲ準用
ス

附則
本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今問題ニナリマシタ法案ハ是マデ現金ノ取扱ハ
總テ出納官吏ニ取扱ハシムル規定ニナッテ居リマスルノテゴザイマスガ、此
鐵道ノ事業、郵便ノ事業、電信、郵便爲替、郵便貯金等ノ事業ハ追々改良進歩
ヲ加ヘマシテ、成ルベク人民ノ便利ニナルヤウニ、或ハ自宅拂等ノコトマデ
モ開始致シ、郵便貯金ノ如キモ成ルベク集金人ヲ派シテ取立テサセルト云フ
ヤウニ、成ルベク人民ノ便利ニナル方法ヲ設ケルコトニナリマシタ、就キマ
シテハ是マデノ如クニ總テ官吏ノ資格アル者バカリニ現金ヲ取扱ハシムルト
云フコトデアリマシテハ甚ダ其範圍ガ狹ク、大イニ不便ヲ感ズル所ガゴザイ
マスデ、官吏ノ資格ノナイ事務員ニモ現金ノ取立ノコトニ從事セシメマスル
ト頗ル便利ニナリマス、就キマシテハ現行ノ會計法中ニサウ云フ其事務員ニ
現金ヲ取扱ハセマス場合ノ規定ガゴザイマセヌデ、即チ其責任ニ關スル所
ノ規定ヲ設ケマスルト云フ簡單ナル法律案デゴザイマシテ、郵便法、郵便爲替
等ノ改正ニ伴ヒマシデ自然必要ヲ認メマス譯デ、尤モ其改正ガゴザイマセヌ
デモ此鐵道ノ事業ノ如キハ成ルベク人民ニ近接シテ事務ヲ扱ヒマスニ附イテ
ハ、此規定ヲ要シマス次第デゴザイマス、ソレカラシテ便宜ノ爲序ニ第五ノ
分ヲ併セテ説明致シテ置キマスガ、第五ノ二十三年法律第二十一號ノ改正モ
是モ矢張り郵便法郵便爲替法ノ改正ニ伴ヒマシタ結果デゴザイマシテ、是マ
デノ特別會計法ノ中ニハ取立人ノコト等ノ規定ハ含ミマセヌデゴザイマス、
此度郵便法、郵便爲替法ガ改正ニナリマシテ色々便宜ナ方法ガ設カリマシタ
ニ附キマシテハ、從ッテ此作業特別會計法ニモ改正ヲ要シマス、單ニ其改正
ヲ要シマスル點ノミナ玆ニ規定致シマスル、是モ簡單ナル改正法律案デゴザ
イマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御質問モナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長
指名デ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治二十三年法律第二十一號中改正法律案、政府
提出、衆議院送付、第一讀會

明治二十三年法律第二十一號中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候

明治三十三年二月十七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

明治二十三年法律第二十一號中改正法律案

明治二十三年法律第二十一號中左ノ通改正ス

第一條中「郵便貯金預所貯金」ヲ「郵便貯金」ニ改メ「郵便爲替金」ノ下
ニ「郵便取立金」ヲ加フ

第六條中「郵便貯金預所貯金」ヲ「郵便貯金」ニ改ム

第七條 郵便爲替、郵便貯金、郵便取立金取扱ノ爲特ニ据置運轉資本ヲ置キ
從來ノ爲替資本ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第八條 郵便爲替法第十三條郵便貯金條例第十一條及郵便法第十五條ニ依
リ政府ノ所得ニ歸シタル郵便爲替金、郵便貯金及郵便取立金ハ之ヲ一般
ノ歳入ニ組入ルヘシ

第九條中「郵便貯金預所貯金」ヲ「郵便貯金」ニ改メ「郵便爲替金」ノ下
ニ「郵便取立金」ヲ加フ

附則

本ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 第六ノ分モ同一委員デ宜カラウト思ヒマスガ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者ナリ〕

○松平正直君 第六ノ分モ終リマシタカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 終リマシタ

○松平正直君 今朝御配付ニナリマシタ治安警察法案、行政執行法案、此二
議案デゴザイマスガ、衆議院送付ノ議案デ殊ニ期日切迫デアリマスカラ、今
日ノ議事日程ヲ變更セラレテ此案ヲ議事日程ニ載セラレムコトヲ希望致シマ
ス

○子爵伊東祐磨君 賛成

○子爵小笠原壽長君 賛成

○伯爵勸修寺顯允君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 此際議事日程ヲ變更シテ治安警察法案並ニ行政執

行法案ヲ議スルト云フ動議が出マシテ賛成ガゴザイマス、御異議ガナクバ其
通り致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 治安警察法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

治安警察法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

治安警察法

第一條 政事ニ關スハ結社ノ主幹者(支社ニ在リテハ支社ノ主幹者)ハ結社
組織ノ日ヨリ三日以内ニ社名、社則、事務所及其ノ主幹者ノ氏名ヲ其ノ
事務所所在地ノ管轄警察官署ト届出ツヘシ其ノ届出ノ事項ニ變更アリタ
ルトキ亦同シ

前項ノ届出ヲ爲ササル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ届出ヲ爲スモ實
ヲ以テセサル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 政事ニ關シ公衆ヲ會同スル集會ヲ開カムトスル者ハ發起人ヲ定ム
ヘシ

發起人ハ到達スヘキ時間ヲ除キ開會三時間以前ニ集會ノ場所、年月日時
ヲ會場所在地ノ管轄警察官署ニ届出ツヘシ

届出ノ時刻ヨリ三時間ヲ過キテ開會セス若ハ三時間以上中斷スルトキハ
届出ハ其ノ效ヲ失フ

法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員選舉準備ノ爲ニ選舉權ヲ行フヘキ者及
被選舉權ヲ有スル者ニ限り會同スル所ノ集會ハ投票ノ日ヨリ前五十日間

ハ本條第二項ノ届出ヲ要セス

第一項第二項ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二項ノ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセサル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三條 公事ニ關スル結社又ハ集會ニシテ政事ニ關セサルモノト雖安寧秩
序ヲ保持スル爲届出ヲ必要トスルモノアルトキハ命令ヲ以テ第一條又ハ

第二條ノ規定ニ依ラシムルコトヲ得

第四條 屋外ニ於テ公衆ヲ會同シ若ハ多衆運動セムトスルトキハ發起人ヨ

リ十二時間以前ニ會同スヘキ場所、年月日時及其ノ通過スヘキ路線ヲ管轄警察官署ニ届出ツヘシ但シ祭葬、講社、學生、生徒ノ體育運動其ノ他慣例ノ許ス所ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第一項ノ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセサル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條 左ニ掲グル者ハ政事上ノ結社ニ加入スルコトヲ得ス

一 現役及召集中ノ豫備後備ノ陸海軍軍人

二 警察官

三 官立公立私立學校ノ教員學生生徒

四 女子

五 未成年者

六 公權剝奪及停止中ノ者

未成年者ハ公衆ヲ會同スル政談集會ニ會同シ若ハ其ノ發起人タルコトヲ得ス

公權剝奪及停止中ノ者ハ公衆ヲ會同スル政談集會ノ發起人タルコトヲ得ス

第六條 日本臣民ニ非サル者ハ政事上ノ結社ニ加入シ又ハ公衆ヲ會同スル政談集會ノ發起人タルコトヲ得ス

第七條 前二條ヲ犯シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

前二條ニ背キ入社セシメタル者ハ罰前項ニ同シ

第八條 結社ハ法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員ニ對シテ其ノ發言表決ニ付議會外ニ於テ責任ヲ負ハシムルノ規定ヲ設クルコトヲ得ス

第九條 安寧秩序ヲ保持スル爲必要ナル場合ニ於テハ警察官ハ屋外ノ集會又ハ多衆ノ運動若ハ群集ヲ制限、禁止若ハ解散シ又ハ屋内ノ集會ヲ解散スルコトヲ得

結社ニシテ前項ニ該當スルトキハ内務大臣ハ之ヲ禁止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ制限若ハ禁止ノ命ニ違背シ又ハ解散ヲ命セラレタル後仍退散セサル者ハ二月以下ノ輕禁錮又ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二項ノ禁止ノ命ニ違背シタル者ハ六月以下ノ輕禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 集會ニ於テハ重罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項ヲ公判ニ付セサル以前ニ講談論議シ又ハ傍聽ヲ禁シタル訴訟ニ關スル事項ヲ講談論議スルコトヲ得ス

集會ニ於テハ犯罪ヲ煽動若ハ曲庇シ又ハ犯罪人若ハ刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷害スルノ講談論議ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條 集會ニ於ケル講談論議ニシテ前條ノ規定ニ違背シ其ノ他安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スト認ムル場合ニ於テハ警察官ハ其ノ人ノ講談論議ヲ中止スルコトヲ得

前條ヲ犯シ又ハ本條ノ中止ニ背キタル者ハ三月以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 結社、集會又ハ多衆運動ニ關シ警察官ノ尋問アリタルトキハ主幹者、會長、發起人ニ於テ又ハ警察官ノ主タル社員若ハ主タル會同者ト認ムル者ニ於テ之ニ答フヘシ

警察官署ハ制服ヲ著シタル警察官ヲ派遣シ政事ニ關シ公衆ヲ會同スル集會ニ臨監セシムルコトヲ得其ノ集會ニシテ政事ニ關セサルモノト雖安寧秩序ヲ妨害スルノ虞アリト認ムルトキ亦同シ此ノ場合ニハ發起人ニ於テ又ハ警察官ノ主タル會同者ト認ムル者ニ於テ警察官ノ求ムル席ヲ供スヘシ

第一項ノ尋問ニ答ヘス若ハ答フルモ實ヲ以テセス又ハ第二項ノ場合ニ於テ警察官ノ臨監ヲ拒ミ若ハ其ノ求ムル席ヲ供セサル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 集會又ハ多衆運動ノ場合ニ於テ故ラニ喧擾シ又ハ狂暴ニ涉ル者アルトキハ警察官ハ之ヲ制止シ其ノ命ニ從ハサルトキハ現場ヨリ退去セシムルコトヲ得退去ヲ命セラレタルモ仍退去セサル者ハ一月以下ノ輕禁錮又ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 集會及多衆ノ運動ニ於テハ武器又ハ兇器ヲ携帯スルコトヲ得ス但シ制規ニ依リ武器ヲ携帯スル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ違背シタル者ハ三月以下ノ輕禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 秘密ノ結社ハ之ヲ禁ス犯ス者ハ六月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第十六條 法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員議事準備ノ爲ニ相團結スルモノニ對シテハ第一條及第五條ヲ適用セス

第一讀會

貴族院議事速記錄第二十九號

明治三十三年二月二十日

治安警察法案

六五九

第十七條 街頭其ノ他公衆ノ自由ニ交通スルコトヲ得ル場所ニ於テ文書、圖畫、詩歌ノ揭示、頒布、朗讀若ハ放吟又ハ言語形容其ノ他ノ作爲ヲ爲シ其ノ狀況安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スト認ムルトキハ警察官ニ於テ禁止ヲ命スルコトヲ得其ノ命ニ從ハサル者ハ一月以下ノ輕禁錮又ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 左ノ各號ノ目的ヲ以テ他人ニ對シテ暴行シ脅迫シ若ハ公然誹毀シ又ハ第二號ノ目的ヲ以テ他人ヲ誘惑若ハ煽動スル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス使用者ノ同盟解雇又ハ勞務者ノ同盟罷業ニ加盟セサル者ニ對シテ暴行シ脅迫シ若ハ公然誹毀スル者亦同シ

一 勞務ノ條件又ハ報酬ニ關シ協同ノ行動ヲ爲スヘキ團結ニ加入セシメ又ハ其ノ加入ヲ妨クルコト

二 同盟解雇若ハ同盟罷業ヲ遂行スルカ爲使用者ヲシテ勞務者ヲ解雇セシメ若ハ勞務ニ從事スルノ申込ヲ拒絕セシメ又ハ勞務者ヲシテ勞務ヲ停廢セシメ若ハ勞務者トシテ雇傭スルノ申込ヲ拒絕セシムルコト

三 勞務ノ條件又ハ報酬ニ關シ相手方ノ承諾ヲ強ユルコト

耕作ノ目的ニ出ツル土地賃貸借ノ條件ニ關シ承諾ヲ強ユルカ爲相手方ニ對シ暴行シ脅迫シ若ハ公然誹毀スル者ハ罰前項ニ同シ

第十九條 行政官廳ハ安寧秩序ヲ保持スル爲必要ト認ムルトキハ戎器爆發物又ハ戎器ヲ仕込ミタル物件ノ攜帶ヲ禁スルコトヲ得

前項ニ違背シタル者ハ六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第二十條 本法ニ關スル公訴ノ時効ハ六箇月トス

第二十一條 集會及政社法ハ之ヲ廢止ス

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 治安警察法案ノ提出ノ理由ヲ簡短ニ一言致シマス、現行ノ集會政社法ハ其規定ガ往々苛察ニ涉リマシテ今日ニ至ッテ見マシマスレバ餘リ必要ノナイ規定モゴザイマス、又一方ニ於キマシテ集會政社法ノ範圍ニ屬シナイモノニ類似ノモノデ取締ヲ要スルコトガゴザイマス、例ヘバ街頭ニ於テ演說ヲ致シマスルトカ或ハ又文書圖畫ヲ配付致シマシテ、サウシテ公衆ニ自己ノ意見ヲ表示スルト云フヤウナ事柄ニ附キマシテハ、是マデ何等ノ規定ガゴザイマセヌ、又秘密結社ニ關スル規定モ目下ニ於キマシテハ缺ケテ居リマス、其他種々取締上必要ノコトデアリマシテモ現行ノ集會政社法其

他取締規定ノナイモノガ往々ゴザイマスルカラ、今回は行ノモノナ一括致シマシテ治安警察法トシテ提出致シマシタ次第ゴザイマス、是ハ行政ノ施行上、誠ニ必要ヲ感ジテ居リマスル事柄デゴザイマスルカラシテ、何卒御協賛ヲ願ヒマス次第ゴザイマス、尙ホ併セテ行政執行法案ノ提出ノ理由ヲ一言致シマスルガ、行政執行ノ方法ニ附キマシテ目下ノ規定ガ極メテ不備デゴザイマシテ、地方ノ命令或ハ中央ノ省令等位デ一時急ニ應ズルダケノ規定ヲ設ケテ居ルト云フ位デアリマシテ、今日ノ時勢ニ於キマシテハドウシテモ法律ノ規定ヲ發スルノ必要ガアルト認メテ居リマス、又執行ノ方法ニ至リマシテハ今日ノ法律ノ規定ハ極メテ不備デゴザイマシテ、己ムヲ得ズ各箇ノ法律ニ於キマシテ執行ノ方法ヲ定メテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、併シ此行政執行ノコトハ一般ニ何等ノ規定カナケレバドウシテモナラヌト存ジマスカラシテ、今回行政執行法案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、是モ目下最モ必要ヲ感ジテ居リマスル法案デゴザイマスカラ、議會切迫ノ際デハゴザイマスケレドモ、何卒御協賛アラムコトヲ希望スルデアリマス

○村田保君 本員ハ唯今之ヲ受取りマシタバカリデ、マダ中ヲ見マセヌガ、少シ斯ウ云フコトヲ伺ヒタイ、五條ノ中ニ「左ニ掲クル者ハ政治上ノ結社ニ加入スルコトヲ得ス」ト云フコトガゴザイマス、神職トカ神官トカ云フコトハ玆ニアリマセヌガ、此結社ニハ這入ラヌ積リデゴザイマスカ、チヨット伺ヒタイ

○政府委員(一木喜徳郎君) 此規定ハ現行法ノ通りニナッテ居リマスノデ、神官神職等ニ附キマシテハ現行法ニ於キマシテ其規定ハナイノデゴザイマス、是ハ身分ノ方ノ側カラ取締ルコトモ出來ルデアリマス、又其取締ヲ致シマスルノデゴザイマス、現行法ニ規定ガゴザイマセヌカラ加ヘナカッタ次第デゴザイマス

○村田保君 併シ許サヌ積リデゴザイマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 神官神職ハ内務大臣ノ監督ヲ受ケテ居リマスカラ、其身分上取締ラナクテハナラヌモノト思ヒマスカラ、其方デ取締ル考デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 此委員ノ選定モ議長ノ指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 行政執行法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
行政執行法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

行政執行法

第一條 當該行政官廳ハ泥酔者瘋癲者自殺ヲ企ツル者其ノ他救護ヲ要スト
認ムル者ニ對シ必要ナル檢束ヲ加ヘ戒器兇器其ノ他危險ノ虞アル物件ノ
假領置ヲ爲スコトヲ得暴行鬭爭其ノ他公安ヲ害スルノ虞アル者ニ對シ之
ヲ豫防スル爲必要ナルトキ亦同シ

前項ノ檢束ハ翌日ノ日没後ニ至ルコトヲ得ス又假領置ハ三十日以内ニ於
テ其ノ期間ヲ定ムヘシ

第二條 當該行政官廳ハ日出前日没後ニ於テハ生命身體又ハ財産ニ對シ危
害切迫セリト認ムルトキ又ハ博奕密賣淫ノ現行アリト認ムルトキニ非サ
レハ現居住者ノ者ニ反シテ邸宅ニ入ルコトヲ得ス但シ旅店割烹店其ノ他
夜間ト雖衆人ノ出入スル場所ニ於テ其ノ公開時間内ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 當該行政官廳ハ密賣淫ノ罪ヲ犯シタル者ニ對シ其ノ健康ヲ診斷シ
必要ト認ムルトキハ本人若ハ媒合者ノ費用ヲ以テ病院ニ入ラシムルコト
ヲ得但シ本人又ハ媒合者ニ於テ費用ヲ負擔スルノ實力ナシト認ムルトキ
ハ廳府縣警察費ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ妨ケス

風俗上ノ取締ヲ要スル業ヲ爲ス者ノ居住其ノ他ノ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ
定ム

第四條 當該行政官廳ハ天災事變ニ際シ又ハ勅令ノ規定アル場合ニ於テ危
害豫防若ハ衛生ノ爲必要ト認ムルトキハ土地物件ヲ使用處分シ又ハ其ノ
使用ヲ制限スルコトヲ得

第五條 當該行政官廳ハ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ依リ命シタル行
爲又ハ不行爲ヲ強制スル爲左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 自ラ義務者ノ爲スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシメ其
ノ費用ヲ義務者ヨリ徵收スルコト

二 強制スヘキ行爲ニシテ他人ノ爲スコト能ハサルモノナルトキ又ハ不
行爲ヲ強制スヘキトキハ命令ノ規定ニ依リ二十五圓以下ノ過料ニ處
スルコト

前項ノ處分ハ豫メ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ急迫ノ事
情アル場合ニ於テ第一號ノ處分ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス
行政官廳ハ第一項ノ處分ニ依リ行爲又ハ不行爲ヲ強制スルコト能ハスト
認ムルトキ又ハ急迫ノ事情アル場合ニ非サレハ直接強制ヲ爲スコトヲ得
ス

第六條 第三條及第五條ノ費用及第五條ノ過料ハ國稅徵收法ノ規定ニ依リ
之ヲ徵收スルコトヲ得

行政官廳ハ前項ノ徵收金ニ付國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス
第一項ノ費用及過料ニ關スル繰替支辨、收入ノ所屬其ノ他必要ナル事項
ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 認可又ハ許可ヲ受クルニ非サレハ所有スルコトヲ得サル物件行政
廳ノ保管ニ歸シタル場合ニ於テ其ノ所有ヲ認許スヘカラサルトキハ其ノ
所有權國庫ニ歸屬ス假領置ヲ爲シタル物件ニシテ一箇年以内ニ交付ヲ請
求スル者ナキトキ亦同シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 兩案トモ同一委員デ宜カラウト思ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 農工銀行補助法中改正法律案、政府提出、衆議院
送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵小笠原壽長君演壇ニ登ル〕

○子爵小笠原壽長君 私ハ農工銀行補助法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御
報告ヲ申上ゲマス、此委員長ハ清樓伯爵デゴザイマスルケレドモ、清樓伯爵
ハ昨日來御病氣デアリマシテ、昨日モ今日モ御出勤ガゴザイマセヌカラ私ヨ
リ代ッテ御報告ヲ申上ゲマス、此委員會ハ昨日開キマシテゴザイマス、委員
モ皆揃ヒマシテ、唯今申上ゲマスル通り清樓伯爵一人ダケ御闕席デゴザイマ
シテ、其他ノ委員ハ殘ラズ出席ニナリマシテ、政府委員ニモ種々質問モゴザイ
マシタガ、全會一致ヲ以チマシテ一人ノ異議者モゴザイマセズ政府案ヲ適當
ノモノト見マシテ可決ヲ致シタ次第デゴザイマシテ、簡短ニ可決致シマシタ

理由ヲ申上ゲマスレバ、諸君モ御承知ノ如ク、農工銀行ト申シマスルモノハ他ノ銀行ト違ヒマシテ營業ノ區域ガ餘程檢束致シテアリマス、其代リニ又債券發行ト云フ恩典モ與ヘテゴザイマスルガ、然リマス所ガ債券ガ四箇所バカリ農工銀行デ發行ナ致シマシタサウデゴザイマスルケレドモ、ドウモマダ債券ガ十分ニ進ミマセヌ譯ダサウデゴザイマシテ、故ニ此政府モ農工銀行補助法ノ二條ト、ソレカラ玆ニゴザイマスル四條ト七條ノ年限ヲ延ベテ居リマス、二條中十箇年ニ延ベテ置キマシタラ債券ガ十分ニ進マウカト云フ政府ノ考デゴザイマシタサウデゴザイマスルケレドモ、中々政府ノ見込通り參リマセヌサウデ、今五箇年モ之ヲ延ベタナラバ債券ノコトモ十分進ミマシテ農工銀行法モ普通ノ銀行通り農工銀行ノ株主ニモ満足ヲ與ヘラル、コトガ出來ルダラウト云フ所カラ、農工銀行補助法中二條、四條、七條中ニ年限ヲ延ベラレマシタ次第デアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ今申上ゲマス通り適當ナモノト認メマシテ可決致シマシタ次第デアリマス、二條、四條、七條ハ農工銀行補助法中ニモゴザイマスルカラ、本員ハ御質問モゴザイマスレバ述ベマスデゴザイマスガ、御質問ガナケレバ述ベマセヌ、是ハ至ッテ簡單ナ案デゴザイマスカラ委員ニ於キマシテモ一人ノ異議者モナク決シマシタ次第デアリマス、ドウゾ讀會省略ヲ以テ可決セラレムコトヲ希望致シマス

○子爵新莊直陳君 賛成

○子爵金子有卿君 賛成

○男爵杉溪言長君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○渡邊洪基君 賛成

○千坂高雅君 賛成

○宮島誠一郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ガ成立チマシタ、之ヲ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略致シマス、次ニ原案御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 農工銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵小笠原壽長君演壇ニ登ル〕

○子爵小笠原壽長君 此農工銀行法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、是モ矢張り清棲伯爵ガ委員長デゴザイマスガ私が、代ッテ報告致シマス、此委員會モ昨日開キマシタ、種々質問モゴザイマシタガ是亦以チマシテ一人ノ委員中ニ反對モゴザイマセズ全會一致ヲ以チマシテ是ハ可決致シタ次第デアリマスガ、之ニ附キマシテハ衆議院ノ修正ガゴザイマス、其修正ニ附キマシテモ政府ニ於キマシテモ此修正ニ附イテハ更ニ異議ハナク同意ヲ表スルト云フコトデゴザイマス、其儘委員ニ於キマシテ一字一句ノ修正モナク衆議院修正ノ通りニ致シマシタ次第デアリマス、是モ簡短ニ此理由ヲ申上ゲマスレバ此政府ノ現行法中ノ一番ニ出テ居リマス「耕地整理法」ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ參加土地所有者總員カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ定期償還ノ法律ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコト」之ヲ政府カラ出サレマシタ次第ヲ承ッテ見マスルト、此耕地整理法ト云フモノハ矢張り農業ノ改良ヲ圖ルモノデアアル、故ニ農工銀行デ耕地整理ニ使用スル金ヲ貸付ケルノハ是ハ當然ナコトデアアル、是非耕地整理ナスルニ金ガ要ルナラバ農工銀行デ金ヲ借用スルノガ當然デアルト云フ所カラ此耕地整理ニ金ガ要ル時分ニハ農工銀行ハ無抵當デ金ヲ貸付ケナケレバナラヌト云フノデゴザイマス、委員會デモ之ヲ適當ト認メマシタ次第デアリマス、ソコデ第二十四條ノ政府案ハ「農工銀行ハ日本勸業銀行ノ貸付ヲ代理シタル場合ニ於テハ日本勸業銀行ニ對シ債務者ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得」ト云フノガ今度新ニ……イヤ是ハチヨット落シマシタ、二十四條ノ前ノ第七條ニ又一ツ政府カラ出テ居リマスノチツイ落シマシタガ、此七條ノ二ハ「産業組合法」ニヨリ設立シタル無限責任ノ信用組合購買組合及生産組合ニハ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトガ今度出テ居リマスガ、是ハ産業組合法ト申シマスルモノハ是ハ唯今衆議院ヲ通過致シマシテ貴族院ニ同ハリマシテ唯今委員ノ手ニゴザイマスルガ、此産業組合法ノ第一條ニ此信用組合、販賣組合、購買組合、生産組合、ト云フモノガゴザイマスノデ、是モ矢張り農業ニ連帶ナ致シテ居リマシテ農業ノ發達ヲ圖ル譯デアリマスカラ、此産業組合法ニ據リマシテ無限責任ノ信用組合カラ借用ヲ申出マシタトキニハ農工銀行ニ於テ貸スノガ適當デアルト云フ理由デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシ

テモ之ヲ適當ト認メマシテ此條モ可決致シマシタ、ソレカラ今申上ゲマシタ
「農工銀行ハ日本勸業銀行ノ貸付ヲ代理シタル場合ニ於テハ日本勸業銀行ニ
對シ債務者ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得」是モ政府カラ出サレマシタ理
由ヲ承ッテ見マスルト、前ノ補助法案ノ時分ニ述ベマシタル通りドウモマダ
農工銀行ハ債券ガ十分ニ進ミマセヌノ當時債券ヲ發行シマシタ諸縣ノ農工
銀行ハ静岡縣ニ秋田縣、群馬縣、山梨縣ニ神奈川縣ノ此五縣デアリマス、唯今
債券ヲ發行致シテ居ルノデアリマス、是モ十分ナ結果デアリサウデゴザイ
マス、ソレデ勸業銀行ノ債券ノコノニ附イテハ諸君モ御承知ノ通り割増金ガ
付テ居ルカラ隨分此債券ノ方ハ好結果ヲ奏スルノデアリマスガ、地方ノ農工
銀行ニ於キマシテハ債券ガ不十分ノ爲ニドウモ十分ナ貸付ヲ致スコトガ出來
マセヌサウデアリマス、ソレデ又勸業銀行ノ方カラ小サナ金ヲ貸付ケマス
キニ、一々ドウモ其地所ヲ檢査ニ參リマスルト云フコトニナリマシテハ勸業
銀行ノ方デ引合ヒマセヌ故ニ、今度農工銀行ニ代理ヲサシテ金ヲ勸業銀行カ
ラ農工銀行ニ振出シテ農工銀行ガソレナ地方ノ人ニ貸付ケルト云フコトニナ
リマスカラ、農工銀行ガ勸業銀行ノ爲ニ債務者ノ保證ヲ致スコト云フコトニナ
リマスカラ、勸業銀行モ費用ノ引合ヒマセヌサウナコトモアリマセズ農工銀
行ガ保證ニ立ツカラ安全デアリマス、又農工銀行モ日本勸業銀行カラ金ヲ取
出シテ貸付ケマスカラ手数料モ取レマスカラ、是ハ兩方ノ便利ニナリマスル
所カラ此改正案ガ出マシタサウデアリマス、是モ委員會ニ於キマシテハ至極
適當ト認メマシテ可決致シマシタ、ソレデ此二十四條ノ二項中ニ衆議院デ「府
縣」ノ下ニ「郡市」ト云フ二字ヲ加ヘマシタ、ソレハ「第二十四條ニ」トアル所
ヘ「第二項中府縣ノ下ニ郡市ヲ加ヘ」ト衆議院デ加ヘマシテゴザイマス、是
ハ政府ニ於キマシテモ聊カ異議ハゴザイマセヌサウデゴザイマス、委員ノ中
ニ府縣ト云フ中ニハ郡市モ這入ッテ居ルモノデハナイカト云フ説ガゴザイマ
シタガ、政府委員ノ答辯デハソレハ這入ッテ居ナイ、是ハ府縣中ノ地方稅ヲ取
ル意味デアルカラ郡市ト云フモノハ這入ッテ居ラヌト云フ昨日委員會デ答辯
モアリマシタガ、ソレデ政府モ異議ハゴザイマセヌ、府縣ノ金ヲ取扱フ所ハ
同シ公共ノ金デアルカラ郡市ノ金ヲ取扱ハシテ一向差支ナイ、デ此「郡市」ノ
二字ヲ加ヘテ政府ニ於テ異議ナイト云フコトデアリマシタ、委員會ニ於テモ
至極適當ナモノト認メテ可決致シマシタ、ソレカラ又衆議院デ二十六條二項
ノ次ニ「農工債券ヲ發行スル場合ニハ商法第九十九條ノ規定ヲ適用セス」ト
云フコトヲ衆議院デ入レマシタ、是ハ此五六日跡ニ勸業銀行ニ政府カラ矢張

リ此事ガ出マシテ既ニ此貴族院デ可決致シテ居リマス、是ハドウ云フ場合カ
ト申シマスレバ債券ヲ發行致シマス場合ニハ株主總會決議ヲ經ロト云フコト
ガゴザイマス、ソレヲ止メマスル譯デアリマシテ、此事モ政府ニ於キマシテハ
少シモ異議ハゴザイマセヌ、勸業銀行、農工銀行ハ性質ヲ同ジクシテ居ル譯
デアルカラ、實ハ此事ヲ今度改正案ニ附ケテ出サウト思ッタクデドモ、マダ債
券ヲ發行シテ居ル銀行ハ前ニ申シマシタ通り僅ニ五箇所シカナイカラ、モウ
少シ債券ヲ發行スルコトガ多クナッテカラ出シテモ宜カラウト云フ考デ此箇
條ヲ入レナカッタ次第デアルガ、今度はガ衆議院カラ出テ來テ見レバ前ニ述ベ
タ通り勸業銀行ト同質ノ銀行デアルカラ政府ニ於テ適當ト認メルニ依ッテ、是
亦少シモ異議ハナイト云フコトデ、委員會ニ於キマシテモ其事ヲ適當ト認メ
マシテ可決致シマシタ次第デアリマス、ソレデチヨット前ニ申落シマシタガ、
衆議院デ「第七條ヲ第七條ノ一トシ」ト云フコトガ衆議院デ修正ニナッテ居
リマスガ、最モ矢張り産業組合法ト云フ政府カラ出マシタ條ガ第七條ノ二ト
ナッテ居リマスカラ初ノ方ヲ七條ノ一トシテ適當ダラウト考ヘマシテ條ガ一
ト二ト云フコトニナリマシタ、是ハ委員會デハ異議ガゴザイマセヌ、右等ノ
次第デゴザイマス、此段御報告ヲ申シマス

○子爵新莊直陳君 此案モ至ッテ簡單ナ案デゴザイマスカラ讀會省略ナ……
○子爵小笠原壽長君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○村田保君 本員ハ讀會省略ノ場合デゴザイマスガ、之ニ附キマシテ意見ヲ
述ベタウゴザイマス、ドウゾ讀會省略ハ御採用ニナラヌヤウニ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 贊成ガアッテ成立テバ仕方ガナイ、マダ成立ッテ
居リマセヌ

○米谷半平君 贊成

○鳥越貞敏君 贊成

○渡邊洪基君 贊成

○千坂高雅君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ勸議ガ成立チマシタ

〔村田保君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) チヨット御待下サイ、此決ヲ採リマシテ後トカラ
説ヲ御述ニナルヤウニ願ヒマセウ、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略シマス

○村田保君 本員ハ直チニ決セラル、コトハ甚ダ困リマスカラ延期ニナラムコトヲ希望スルノデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト申シマス、此七條ノ「産業組合法」ニ依リ設立シタル無限責任ノ信用組合購買組合及生産組合」ト云フコトガアリマス、所ガ産業組合法ト申シマスルモノハ一昨々日本院デ第一讀會ヲ開キマシテ、サウ致シマシテ唯今委員ニ付託ニナッテ、本日委員ガ始メテ此特別委員會ヲ開キマス様子デアリマス、ソレデ産業組合法ト申シマスモノハ第十一議會ニ政府カラ提出ニナッタモノデ、然ル處其時分ニ餘程議論ガゴザイマシテ中ノ論ガアルモノデゴザイマシタカラ、遂ニ委員會デ以テ其儘ニナッテシマッタ、ソレデ先日一讀會ノ時分ニ本員カラ政府委員ニ向ッテ此度出マシタ産業組合法ト云フモノト前ノトハ多少變ッタ所ガアルカト云フコトヲ尋ネマシタラ、此度ノハ使用組合ト云フモノハ除イタト云フコトデアリマス、前ノニハ使用組合デアッタケレドモ今度ハ削ッテ、生産組合ト云フモノニ這入ッテ居ル、餘程妙ナコトニナッタノデ、生産組合ノ中ニ使用組合ヲ入レルコトニナルト、餘程性質ノ變ッタモノニナル、其他ヲ見マス所ガ産業組合法ガ委員ノ報告ニナリマシタ本員ハ之ニ附イテ餘程反對ノ意見ヲ持ッテ居リマスカラ十分議場デ述ベタイト思ッテ居リマス、委員會モ本日始メテ開キマシタコトデアリマスカラ、此産業組合法ハ殆ド百條程モアリマスカラ、委員會ニ於テハ迎モ今日ヤ明日デ議スルコトハ出來ナイト思ヒマス、委員ノ修正ガ如何ニナッテ出マスカ、ソレハ一向存ジマセメケレドモ、其委員ノ修正ニ依リマシテハ是ハ議論ノアルコトダラウト思フ、其産業組合ト云フ元ガ極ラナイ、産業組合ノ元ガドウナルカ、成立モシナイ中カラ此處ニ産業組合ト云フコトヲ方々出スト云フノハ餘程分ラヌコトダラウト思フ、一體産業組合ト云フ斯ウ云フモノハ同一委員デ調べマシタナラバ、産業組合法ガ成立ッテ、組合法ガ出來タ後ニ斯ウ云フモノガ出來レバ分ルガ、本元ナル産業組合ノ方ガマダ出來テ居ラヌ、マダ極ッテ居ラヌ、ソレダノニ片方ハ本院ヲ通過スルコトニナッテ、萬一産業組合法ガ成立タヌコトニナルト實ニ妙ナ結果ヲ來タスダラウト思ヒマス、ソレ故ニドウカ是ハ今日ドノヤウニ皆サン方ガ熱心ニ御通シニナラウト仰ッシャッタ所ガ肝腎ノ元ガ極ラヌ、元ガ法律ニナルカナラヌカ分ラヌ中ニ、或ハ委員會デ否決スルカモ知レナイ、ソレニモ拘ラズ是バカリ先ニ出スト云フ道理ハドウシテモナイト思ヒマス、其元ノ法律ガ出來タ

後始メテ法律トシテ此處ニ引用スルコトハ出來マスルケレドモ、マダ元ガ極ラヌデ、否決スルカ可決スルカ譯ノ分ラヌ中ニ此事ヲ出スト云フ道理ガ分ラヌト思ヒマス、ソレ故ニ本員ハ産業組合法ガ委員ノ報告ニナリマシテ、ソレガ可決ニナリマシタ上デ御極メニナリマセヌト云フト甚ダ不都合ナル結果ヲ生ジマセウト思ヒマス、ドウゾ是ハ産業組合法ノ委員會ノ報告マデ御見合テ願ヒタイ

○子爵小笠原壽長君 チョット私ハ村田君ニ申上ゲマスガ、委員會デモ其論ハゴザイマシタ、委員會デモ其説ガ出マシタ所ガ、政府委員ノ御答辯ニ依リマス、ソレハ法律ガ成立タンデモ是ハ出シテ一向差支ナイ、是ガ出タ以上デアレガ成立タナカッタトキニハ此條ガ無効ニナルダケデアルカラ一向差支ナイ、既ニ斯ウ云フ例ト云フモノハ是マデ段々アルト云フ一二ノ例ヲ引カレマシテ申サレマシタカラ、委員會デモ其政府委員ノ言ヲ信ジテサウ云フコトナラ差支ナカラウト云フ所カラ斯ノ如ク決シマシタ次第ゴザイマス、委細ノコトハ政府委員カラ御答辯ニナリマセウケレドモ、委員會ニ於テハ決シテ輕々ニ看過シタト云フ譯デハアリマセヌ、其議論ノ十分ゴザイマシタ結果、極メマシタ譯デゴザイマス、左様ドウカ御承知ヲ願ヒマス

○村田保君 本員杯ハチカシナコトダラウト思ヒマス、是ハ委員會ノ報告マデ待テヌト云フ道理ハナイ、肝腎ノソレガ分ラナケレバ仕方ガナイ、萬々一知ラズニ通レバ仕方ガナイガ現ニ委員ガ調査中デアル、是ガ可決トカ否決トカマダ極ラヌ中デアル、其報告マデ是非待ッテ居ルコトハ出來ヌト云フコトナラ仕方ガゴザイマセメケレトモ、待ッテモ決シテ差支ナイ、之ヲ待テヌト云フ道理ハドウシテモナイダラウト思ヒマス

○男爵尾崎三良君 私モ村田君ニ同意ヲ致シマス、今小笠原君ノ御演説ニ依ルト、政府委員ガ是デ宜イト言ッタカラ宜イ、斯ウ云フ御議論ノヤウニアリマス、如何ニ政府委員ガ宜イト言ウタカラト云ウテ、ソレデ斯ウ云フマダ未定ノ法律ヲ此法律ニ加ヘテ此處デ之ヲ確定スルコト云フコトハ體面上カラ言ッテモ亦實際ニ於テモ、サウスベキモノデナイト考ヘマス、是ハ一日ヤ二日御延ベニナッタ所ガ差支ヘル譯ハナカラウト思ヒマスカラ、ドウカ村田君ノ御説ノ通り彼ノ産業組合法ノ成立ツマデ御延ベニナッタ方ガ然ルベキト考ヘマス

○渡邊洪基君 本員ハ矢張り是ハ直チニ此處デ御議シニナッテ宜カラウト思ヒマス、ナゼト云フニ今日之ヲ決シテモ産業組合法ガ成立タナケレバソレハ

空文ニ屬スルニ過ギナイ、併ナガラサウ云フモノガ幾ラモアル、既ニ決シテシマツテ其法文ガナクナツタ條ガ現行ノ法律ニハ幾ラモアル、故ニ産業組合法ガ成立タンデモ宜イト思フ、サウシテ又會期モ切迫シテ居リマスカラ産業組合法案ハ委員ノ手許デ決セヌカモ知レナイ、サウシテ是モ共ニ通過シナイデ、

條ノ施行ニ差支ヘマスカラ矢張り直チニ御決シニナツタガ宜カラウト思ヒマス

○千坂高雅君 本員モ此案ノ委員デゴザイマシタガ、政府ノ意向ハイザ知ラズチットモ之ヲ此處デ御決シニナツテ差障ハナイト云フ意見デアリマス、如何トナレバ唯今渡邊君カラモ說モアル通り産業組合法案ハ否決ニナラウガ修正ニナラウガ、チットモ關係ハ持タヌノデアリマス、産業組合法案ガ否決ニナツタラバ法律ハ唯缺ケルト云フダケデ、他日産業組合法案ガ可決ニナレバ之ガ活動致シマスカラ、ドウシテモ委員會ノ決定通り諸君ノ御賛成ヲ希望致シマス

○村田保君 本員ハ渡邊君ニ御尋シタイ、渡邊君ハ幾ラモアルト仰ツシャルガ私ハナイト思フ、法律ガナイノニ片方デ斯ウ云フモノヲ出シタラ空中樓閣ヲ畫クモノト同ジモノト思ヒマス、實際ソナ例ガアル譯ノモノデナイ、現ニ法律ノ元ガ出來ナイノニコチラデ確メルト云フコトハ決シテ出來ヌト思ヒマス、又千坂君ハ之ヲ可決シテ置イテ此法律ノ元ガナケレバソレハ創テモ宜シイト言ハマレシタガ、ソレハ何事デス、一體我々が立法院トシテ斯ウ云フ不都合ヲ認メレバ不都合ニナラヌヤウニ防ガナクチャナラヌ、ソレニ看ス看ス構ハナイ、法律ガ出來ヌケレバ其點ハ削ッテモ宜イト云フノハ不親切極マルト

思ヒマス、ソレニ産業組合ノ委員ノ報告ヲ待テヌト云フコトハ決シテナイ、ソレヨリハ却ッテ我々ノ方カラ言ヘバ此方ハナクッテ後ニ産業組合ガ出來タ後ニ此處ヘ加ヘテモ宜シイト思ヒマス、元ノ極ラヌ内ニ之ヲ掲ゲルノハ實ニ空中樓閣ト同ジダラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ノハ質問デアッタノデスカ

○村田保君 幾ラモアルト云フコトヲ言ハレマシタカラ、ソレヲ承リタイ

○渡邊洪基君 有ルト思ヒマス、又有り得ルコトダラウト思ヒマス、之ヲ削ルト云フノヂヤナイ、斯ウ云フノハ現行法ノ定ッテ居ル條項ノ中ニ或ハ廢法ニ屬シテ居ル箇條ガ幾ラモアル、ソレト同シデ之ヲ決シテ置イテ産業組合ガ成立タネバ其條ガ一時空條ニナルト云フダケノ話デアリマス

○男爵本田親雄君 此法案ニ附イテ質問致シタイコトガゴザイマスガ、政府委員ハ出テ居ラレマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 出テ居ラレマス

○男爵本田親雄君 ソレデハ質問致シマス、斯様ナ例ガ幾ラモアルト云フコトヲ委員會デ申サレタト云フコトデアリマスカラ、詳ニ此處デ御説明ヲ願ヒタイ

〔政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松尾臣善君) 御答致シマスガ、是マデ政府カラ出シマシタ内ニ同時ニ出シマシテ、ソレヲ前後シテ議決ニナリマシタ例ハ是マデ間々アルコトデアリマス、ソレデ是モ矢張り同様ニ一緒ニ出シタ譯デゴザイマス、ソレデ之ガ御決議ニナツテ一方ガ否決セラレマスレバ此法文ガ働キマセヌダケノコトデゴザイマス、既ニ此間モ間接國稅ノコトニ附イテ矢張り兩方ノ案ヲ一時ニ出シタ例ガゴザイマス、一向差支ナイコトト考ヘテ居リマス

○久保田讓君 私モ政府委員ニチヨット御尋シマス、今村田君ノ御說モアリマシタガ、之ヲ賛成スルカシナイカニ附イテチヨット御聞申シタ上デナイト決シラレナイノデアリマス、是ハ村田君ノ御議論ガ至極當然ノ議論ト思ヒマスガ、併ナガラ今日會期モ切迫シテ居リマスシ、産業組合法モ大部デ俄ニ調査ノ出來難イノモ村田君ノ言ハレル通りデ、勿論延期チシテ産業組合法ガ出來ヌ爲ニ此法案ヲ議スルコトハ出來ヌト云フコトニナレバ、此改正案中ノ他ノ條項ガ是非之ヲ今日議決シナケレバ不都合ガアルカナイカヲ御尋シタイ、ソレカラモウ一ツハ已ムヲ得ヌトキニハ産業組合ト云フ一條ヲ削ッテ……修正チシテ削ッテ置イタラバ何カ差支ガアリマスカ、其二箇條ヲ伺ヒタイ

○政府委員(松尾臣善君) 此中デ一番差支ヘマスノハ第二十四條ノ勸業銀行ト農工銀行ノ連絡ヲ附ケマスノガ誠ニ必要ナンデアリマス、唯今委員長カラモ御報告ニナリマシタ通りニ農工銀行ノ貸付資本金ヲ得マス途ハ債券ヲ發行シテ得ルコトニナツテ居リマスケレドモ、目下ノ所ハ債券ヲ發行シマスコトガ出來マセヌ、應募者ガゴザイマセヌ、ソレデ農工銀行ノ資本ヲ得マス途ガゴザイマセヌカラ、府縣ノ農工業ノ改良ニ供シマス貸付チシマスコトカ殆ド出來ナイト云フヤウナ形ニナツテ居リマス、ソレデ勸業銀行ノ方カラソレヲ貸セバ宜イト云ウテ見マシタ所ガ、勸業銀行カラ貸シマス遠方ノ所ヘ檢査ニ行ッテ或ハ登記チスルト云フヤウナコトニ附イテハ借主ノ方デ其費用ヲ負擔シマスカラ、僅ノ金ヲ借リル爲ニ非常ナ入費ヲ支拂ハヌナラヌト云フノデ、勸業銀行モ貸スニ困リ借ル人モ困リマス、故ニ勸業銀行ト農工銀行ノ連絡ヲ附ケマスト勸業銀行ハ唯金ヲ農工銀行ニ渡シテ遣レバ宜イ、農工銀行ハ自分ノ責任デ其金ノ貸付チスル、ソレカラ勸業銀行ニ對シテハ辨濟ノ責任ヲ持ツ、

其利益ハドウカト云フト農工銀行ト勸業銀行ガ協議ノ上デ幾分カ利益ヲ分チマスカラ、勸業銀行ニ取ツテモ都合ガ好シ、又其府縣ノ農工業ノ資本ノ爲ニ借リマス者ノ爲ニモ便宜デアリマス、ソレデ此條ガドウカ成ルベク速ニ成立致シマスルコトヲ希望致シテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ耕地整理法ニ依リマシテ整理致シマスモノニモ之ヲ以テ貸付ヲ請求シテ來ル者モアリマスガ、今日ノ所デハ農工業銀行ノ方ノ營業區域ノ内ニハ此事ガゴザイマセヌカラ、已ムテ得ズ貸付ナスルコトガ出來ズニ居リマス、之レ貸付ヲ開キマスレバ耕地整理法ノ便宜ヲ得ルデアラウ、ソレデ先ヅ此條ハ最モ速ニ施行ガ致シタイト存ジマスノデゴザイマス、ソレカラ第七條ノ二項ニ加ヘムトシマス所ノ產業組合法ト云ヒマスノモ、是モ成立致シマスレバ皆農業ノ發達ヲ誘ヒマスルモノデゴザイマスルカラ、貸付ヲ致シマスレバ非常ナ便利ヲ得ルデアラウト信ジマス、併ナガラハ產業組合法ガ成立致シマセヌケレバ縦シ書イテゴザイマシタ所ガ貸付ナスルコトハ出來マセヌノデゴザイマスカラ若シ產業組合法ガ成立致シマセヌト云フヤウナコトナラバ固ヨリ御創リニナリマシテ一向差支ナイコトデアリマス、所ガ產業組合法ガ成立シマセヌケレバ單獨ニ是デ働クコトノ出來ナイモノデアリマスカラ御創リニナツテモ差支ナイト考ヘマス、ガ成リマスルコトナラバ此儘デ通過シマシテ幸ニ產業組合法モ通過シマスレバ共ニソレデ働ク爲スコトガ出來マスカラ、此儘通過セムコトヲ希望致シマスケレドモ、差支ガアルカナイカト云フ御尋ニ對シテハ今申上ゲル通りノ次第デゴザイマス

○久保田讓君 私ハ一ノ修正案ヲ提出致シマス、村田君ノ御議論ハ一々御尤ト感服致スノデアリマシテ、是マデ斯ウ云フ例ガアルト云フコトデアリマスガ、私杯ハ一向覺エマセヌ、又若シ同意ヲ致シテ居リマスナラバ知ラズシテ同意ヲ致シタト云フコトデアリマスカラ、今後ハドウゾ決シテ左様ナコトガアツテハナラヌコトト思ヒマスカラ、村田君ノ御主意ニハ全然同意ヲ致シマス、併ナガラ唯今政府委員ノ説明モアル通り他ノ箇條ハ皆必要デアル、是非今議會ニ通過シタイト云フコトナレバ此事ニ附イテハ私ハ政府ニ信用ヲ置キマス、ソレ故ニ產業組合法ガ容易ニ調査モ届カヌト云フコトデアレバ、最早會期モ餘ス所兩三日デアリマスカラ、其爲ニ本議會ヲ通過セヌト云フコトハ遺憾ニ思ヒマスカラ、七條ダケハ削除シテ他ノ條ハ通過シタイ、七條ノ二ト云フコトヲ削除アル修正ヲ提出致シマス、ドウゾ御賛成ヲ請ヒマス

○村田保君 本員ハ今述べヤウト思ヒマシタラ久保田君ガ本員ノ申シマセ

ウト思フコトヲ申サレマシタカラ固ヨリ本員賛成致シマス、本員ノ賛成致シマスル理由ト申シマスルノハ此產業組合ノ方ハ施行ノ期日ト、云フモノハ定メテナイ、追ッテ勅令ヲ以テ定メラレルト云フコトニナツテ居ル、ソレハ何ゼト申スニナカナカ此產業組合法ガ今日出マシタ所ガ直グニ施行ノ出來ルモノデナイ、何ゼト申スニ購買組合生産組合杯ト云フ今マデナイモノチ今日是カラ作り出サセヤウト云フデアリマスカラ、ナカナカ容易ニ出來ルモノデハナカラウト思フ、此法律ガ發布ニナツテ官民共ニ此法律ガ能ク分ッテ、ソレカラ申合セテ作ラウト云フノデアルカラ、容易ニ出來ルモノデハナイ、半年ヤ一年デハ出來ルモノデハアリマセヌ、故ニ此施行期日ト云フモノモ勅令デ定メルト云フコトデゴザイマスカラハサウ急ヲ要スルモノデハナイ、ソレデ若シ此法案ガ成立チマシテ施行ニナリマシタ上ニ若シ必要ト見マシタナラバ明年此事ヲ農工銀行ノ方ヘ加ヘテモ差支ナイノデアリマスルカラ、ソレ故ドウゾ唯今久保田君ノ言ハレタ通り此條ヲ削除シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、是ハ政府委員モ強ヒテ反對デモナイヤウデアリマスカラ久保田君ニ賛成シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット村田君ニ御尋シマスガ、今久保田君ノ修正說ニ御賛成ノヤウデアリマスガ、前ノ延期ト云フ動議ハ御取消ニナリマスカ

○村田保君 ソレハ本員ハ取消シマス、其方が宜カラウト思フ、何ゼト云フニ久保田君モ言ハル、通り會期モ切迫シテ居リマス、萬一、產業組合ガ成立タヌト云フコトニナルト先刻政府委員モ言ハル、通り外ノ條ニ差支ガアツテハナリマセヌカラ……ソレ故ニ久保田君ノ言ハレルコトニ同意デアリマス、賛成致シマス

○男爵尾崎三良君 私ハ村田君ノ延期說ニ賛成致シマシタガ、久保田君カラ修正說ガ出マシテ、前ノ延期說ヲ御取消ニナツタヤウデスガ、ドウデスカ延期說ハ延期說デ置イテ、若シソレガ消滅シタラ久保田君ニ御賛成ニナツタヲ如何デスカ御協議致シタイ、今政府委員カラノ説明ガアリマシタガ私ハ耳ガ遠カッタカシテ十分ニ分ラナイ、分ラナイガ詰ル所二十四條ガ必要デアルト云フ御說ノヤウニ思ヒマシタガ、本員ガ讀ンデ見タ所デハ格別必要ニモ感ジナイ、詰リ二十四條ハ「農工銀行ハ日本勸業銀行ノ貸付ヲ代理シタル場合ニ於テハ日本勸業銀行ニ對シ債務者ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウ云フノデ人ノ金ヲ取次イデ借りテヤッタ其代リニ自分ガ保證ニ立ツト斯ウ云フコトデハ何モ法律ガナクテモ保證ニ立ツコトハ出來ルノデ、強ヒテ是ハ必要モ

ナカラウ、矢張り初ノ村田君ノ御説ノ方が適宜デアラウト思ヒマスが如何デスカ、サウシテ萬一ソレガ消滅シタラ久保田君ノ修正説ニ賛成シテモ遅カラヌデハアリマセヌカ、其邊御協議ヲ申シタイ

○天春文衛君 私モチヨット卑見ヲ述ベタイノデゴザイマスルガ、此農工銀行法ノ改正ニ附キマシテハ目下必要ニ迫ッテ居ルト云フ事柄ハ此耕地整理法杯ノコトガ最も必要ニ迫ッテ居ルノデゴザイマス、此法ハ諸君モ御承知ノ如ク既ニ施行ニナッテ居ルノデアリマス、此組合ニ於テ借用ナスル者ガ多クアルコトデアラウト思フ、然ルニ此法案ガ若シ當議會ニ於テ衆議院ニ再ビ回付スルト云フヤウナ場合デ、ソレガ通過シナイトキニ於キマシテハ忽チ差支ヘル譯デアルノデス、然ルニ産業組合法案ガ通過シタ其模様ヲ見ルマデ此法案ノ第二讀會ヲ延期スルト云フコトニナリマス、サウ云フヤウナ手續ノ爲ニ此法案ガ或ハ通過シナイト云フヤウナコトモアルカト考ヘマス、第二讀會ヲ延期スルト云フ事柄ハ私ハ……

○議長(公爵近衛篤磨君) チヨット御注意シマスガ、モウ讀會ガ省略ニナッテ居リスカラ二讀會ヲ延期スルノデアリマセヌ

○天春文衛君 サウデスカ、サウスルト直チニ議スト云フ反對ノ説ニ附イテ尾崎サンノ御説ガアルノデスガ、是ハ七條ノ産業組合ノコトガ成立シテ居ラヌノニ之ヲ議スルノハ如何デアルカラ、之ヲ削除シテ再ビ衆議院ニ回付スル、ソレハ其位ノ日數ハアラウカト思ヒマスガ、之ヲ延バシテ産業組合法案ノ成否如何ヲ見テカラ議スルト云フコトデハ或ハ此法案ガ通過セヌヤウニナルカト思ヒマス、サウスルト忽チ差支ヘルコトデアリマスカラ此延期説ハドウカ御取消ニナルコトヲ希望スルノデゴザイマス

○田中源太郎君 久保田君ノ説ニ賛成シマス

○渡邊洪基君 本員ハ其矢張り久保田君ノ説ニモ不同意デアリマス、不同意ト云フノハマダ斯ウ云フ法律ニハナリマセヌケレドモ此間重要組合法案杯ト云フモノガ出マシテ、モウ既ニ通過シマシタ、此産業組合法ト云フモノハ多年ノ議論デアリマシテ餘程獎勵スル意味ガ政府デモ大イニアリ輿論モサウナッテ居ル、然ルニ今之ヲ削除シテサウシテ産業組合法ト云フモノガ成立ツト……本議會ニ於テ成立ツト見マシタ時分ニ一年ノ間ドウシテモ此農工銀行トノ聯絡ガ附カヌト云フコトニナリマス

〔村田保君〕ソレハ出來マセヌト述フ

ソリヤ出來ヌカモ知レマセヌガ、出來ルモノト視ナケレバナラヌ

〔村田保君〕産業組合ガ出來ヌ中ハ……ト述フ
諸君ガ宜イト思ッテソコヲ極メレバ矢張り之ヲ存シテ置イテ此本案ノ儘デ直チニ決セラル、ノガ至當ト考ヘマス

○男爵尾崎三良君 本員ハ延期説ニ賛成シマシタケレドモ御取消ニナッタ以上ハ第二ノ修正案ニ賛成致シマスガ、先刻カラ此法律ニナッテ居ナイモノヲ他ノ法律ニ掲ゲル例ハ幾ラモアル、ソレハ何處ニ在ルカト云フト、トツクリハ覺エヌガアル、サウ云フヤウナ譯デ、詰リナイノナルト思ッテノ御論ニ相違ナイ、ヨシ會ハッタ所ガ惡例デアッテ、サウ云フ惡例ト知リッ、學ブベキモノデナイ、ソレハ人間ノ事デアリマスカラ時タマ誤ガアッテ、サウ云フコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、誤デアルト氣ガ附イタ以上ハ之ヲ止メナケレバナラヌ、サウ無理ニ之ヲ不都合ナノヲ前後ヲ顧ミズヤラナケレバナヌト云フ程大切ナ箇條デモナカラウト思ヒマスカラ、是非此處デ決議シナケレバナラヌト云フコトナラ是ダケ削ッテ置イテモ差支ナイト考ヘマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 尾崎男爵ハ久保田サンニ賛成ト見テ宜シウゴザイマス

○男爵尾崎三良君 宜シウゴザイマス

○名村泰藏君 チヨット久保田君ニ御尋致シマスガ、第七條ノ二ト云フモノヲ削除スルト云フ修正デアルト云フ御話デゴザイマシタガ、サウデスカ

○久保田讓君 サウデゴザイマス

○名村泰藏君 サウスルト第七條ノ二ヲ削リマス第七條ノ初ニ書イテアル字ハ殘ラズ削ラナケレバナラヌコトニナリマス

○久保田讓君 無論其積リデゴザイマス

○西村亮吉君 久保田君ニ賛成

○瀧兵右衛門君 久保田君ノ説ハ成立ッテ居リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) マダ餘程足リマセヌ

○辻新次君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○名村泰藏君 賛成

○松永安彦君 賛成

○菊池長四郎君 賛成

○子爵丹羽長保君 賛成

○馬屋原彰君 賛成

○子爵竹内惟忠君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) マダ足りマセヌ

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○早川周造君 賛成

○中村元雄君 賛成

○子爵仙石政固君 賛成

○子爵高野宗順君 賛成

○兒玉少介君 賛成

〔其他〕賛成「ト呼フ者アリ」

○議長(公爵近衛篤磨君) 久保田君ノ修正動議ガ成立チマシタ、久保田君ノ修正ハ初「第七條ヲ第七條ノ一」ト云フ所ヨリ三行目「無當抵貸附ヲ爲スコトヲ得」ト云フ所マデヲ削除スルト云フ説デアリマス、之ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス

〔多數〕「ト呼フ者アリ」少數「ト呼フ者アリ」

○子爵小笠原壽長君 ドウカ、氏名點呼ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ反對ノ諸君ノ起立ヲ煩ハシマス、久保田君ノ修正ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 反對ノ方ガ多イヤウデゴザイマス、ソレデハ久保田君ノ修正動議ハ消滅シマス

○村田保君 ソレデハドウゾ是ハ延期ナサツテ載キタイ、是デ極メマスト餘程不都合ナ結果ヲ生ジマスカラシテ、ドウゾ産業組合委員會ノ報告マデ待タレマセヌト實ニ不都合ナ譯ダラウト存ジマス、ドウゾソレマデ延期ニナラムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君カラ再ビ延期説ガ出マシタガ賛成ガアリマセヌカラ成立チマセヌ、原案ニ御異議ガナクバ……

〔異議ナシ〕「ト呼フ者多シ」

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治三十年度歳入歳出總決算及明治三十年特別會計歳入歳出決算、政府提出、決算委員長報告

○男爵伊藤雋吉君 唯今御宣告ニナリマシタニ附キマシテハ決算委員長ガ報告ヲ致サナケレバナリマセヌガ、委員長ハ昨日來病氣デゴザイマスカラ私カラ報告致シテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

〔千坂高雅君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 何デスカ、千坂君ハ……

○千坂高雅君 是カラ市制中改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスガ、宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

〔男爵伊藤雋吉君演壇ニ登ル〕

○男爵伊藤雋吉君 明治三十年度ノ歳入歳出決算ニ附キマシテ御報告ヲ致シマスルガ、是ハ決算委員長ノ平松子爵君ガ報告ヲ致シマスル答ニナツテ居リマシタ所ガ、昨日來病氣デゴザイマシテ、マダ此會期中ニハ出勤ノ程モ分リマセヌ趣デゴザイマスルデ、已ムナク私共ガ代リマシテ報告ヲ致シマスルガ、唯平松子爵ニ於キマシテハ定メテ精細ナル報告ヲ致シマスル積リデ十分ナル腹稿モアリマシタデアラウト考ヘマスルケレドモ、不幸ニシテ報告ニ相成リマセヌコトデゴザイマスコト故、私共デハ十分デアラウト考ヘマスガ已ムナク報告ヲ申上ゲマス、此議案ニ附キマシテハ去ル二十六日ニ議案ヲ政府ヨリ提出サレマシテ二月ノ三日ニ委員會總會ヲ開キマシテ各分科ヲ定メマシタ、爾來分科ニ於キマシテモ會議ヲ開キマシテ政府委員等ニモ質問ヲ致シマシテ十分ニ取調ベマシタ其結果トシテ去ル十五日ニ其總會ヲ開キマシテ順序ヲ以テ決議ニ及ビマシタ次第デアリマス、其決議ノ次第ハ決議ノ報告文ニモゴザイマス通りニ此決議ノ中ニ於キマシテ各省ニ亘リマシテ又會計検査院ノ報告モ共ニ比較ヲ致シマシタ上、各省ニ於キマシテ隨分多々議論ノ點ガアリマシタ、ソレ等ニ附キマシテハ分科ニ於キマシテモ或ハ總會ニ於キマシテモ政府委員ニ精密ナル質問ヲ致シマシテ取調ベマシタ末デアリマス、先ツ委員會ノ總會ニ於キマシテノ結果ハ成程會計検査院ノ不審ノ點、議論ノ點モ色々アリマスルケレドモ、ソレニ附イテ政府委員ノ答辯ヲ得マシタ所ニ於キマシテ或ハ検査院ノ報告ノ如ク當局者ニ於キマシテモ不當ト認メラレテ居ル箇條モ勿論多々アリマス、其中ニハ能ク事實ヲ聞キマスト已ムナキコトト認メル箇條モ多々アリマス、サウ云フ所ヲ以チマシテ先ヅ其事柄ニ附キマシテハ稍々穩ナラヌト云フコトニ認メマシタケレドモ、之ニ對シテ決議案ヲ提出スル程ノ

コトモナイト云フコトニ議決ヲ致シマシタ、唯其中ニ一ツ御報道申シテ置カ
ナケレバナラヌ箇條ガゴザイマスノハ、此分科會ノ第二科ニ於キマシテ二科
ノ決議トシテ出サレマシタ箇條ガアリマス、ソレハ歳出ノ臨時部ニ於キマシ
テ内務省所管、其中三元拓殖務省ノ處分ニ係リマシタ箇條ノ中ニ一箇條アリ
マス、ソレハ内務省ノ所謂臨時部ノ第七款ノ第一項中ニ臨時北海道鐵道敷
設費ト云フモノカラ他ノ鐵道會社ノ鐵道ノ機械等ヲ買入レタト云フコトニ附
キマシテハ第二科ニ於キシテハ是ハ法律ノ正文ニハ觸レヌトハ見マスケレド
モ、其買入方ニ於テ大ニ不當ナルモノト認メルカラ是ハ不當ナリトスル決議
案ヲ提出シタイト云フコトデ提出ニナリマシタ故ニ、委員總會ニ於キマシテ
モ亦政府委員ニ就キマシテ再ビ其事ヲ取調ベマシタ、種々討議ノ末、遂ニ其決
議案ニ對シマシテ決ヲ採リマシタ所ガ多數デ此議決ヲ致スニ及バヌト云フ方
ノ議決ヲ致シマシタ、故ニ總體此報告書ニゴザイマスル通りニ穩ナラヌトハ
認メルガ議決ヲスル程ナ事柄ハナイカラ、先ヅ是ハ皆異議ナイモノト認メテ
宜イト云フ斯ウ云フ報告ヲ致ス譯ニナリマシタ、デ甚ダ不行届ノ報告デハゴ
ザイマスガ、尙ホ御質問等ガゴザイマスルナラバ、ドウカ政府委員ヨリ御答辯
ヲ申マシタ方ガ却ッテ御分リ易イト考ヘマスカラ左様相願ヒタイト考ヘマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 決算委員長ノ報告ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、先刻來御委託ニナ
リマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道シマス

〔太田書記官長朗讀〕

官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便貯金ニ屬スル現金出納ニ關スル法律

案外一件特別委員

子爵竹内 惟忠君 子爵唐橋 在正君 子爵京極 高典君

子爵梅小路 定行君 男爵鈴木 大亮君 馬屋原 彰君

山脇 玄君 長谷川 貞雄君 本間 千代吉君

治安警察法案外一件特別委員

伯爵大村 純雄君 子爵岡部 長職君 三好 退藏君

松平 正直君 中村 元雄君 男爵園田 安賢君

村田 保君 小原 重哉君 山本 忠秀君

○議長(公爵近衛篤磨君) 明日ノ日程ヲ御報道イタシマス

〔太田書記官長朗讀〕

午前十時開議

傳染病豫防救治ニ從事スル者ノ手當

第一讀會ノ續(特別委員)

金ニ關スル法律案(政府提出案)

(議院送付)

第二 社寺上地林處分法案(衆議院提出)

第一讀會

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 混成酒稅法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 市制町村制中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 酒造稅法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 登錄稅法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 明治三十二年法律第三十四號中改正法律案

(衆議院提出)

第一讀會

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十四 國字國語國文ノ改良ニ關スル建議案(辻

新次君外二名發議)

會議(前會ノ續特別
委員報告)

○議長(公爵近衛篤磨君) 本日ハ散會

午後二時三十七分散會